

福祉とやま

ふれあいネットワーク (福) 富山県社会福祉協議会広報誌

2023
7月号
July

No.470



バルーンアートボランティア「ゆめふうせん」の活動の様子

目次

CONTENTS

特集 P2~4

介護現場における介護ロボットやICT(情報通信技術)の活用を支援します
～とやま介護テクノロジー普及・推進センターの紹介～

情報フラッシュ

県福祉人材センターから

あかいはねトピックス P5

知っておきたい福祉情報 社会福祉施設経営相談室から ボランティアグループ紹介

バルーンアートボランティア ゆめふうせん (砺波市) P6

福利厚生センターからお知らせ ソウエルクラブのご案内

運営適正化委員会事業報告 P7

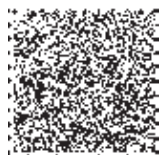
フリートーク

社会福祉法人めひの野園

めひの自閉症地域生活支援センター 相談支援専門員 宮舟 貴子さん

令和5年度社会福祉推進関係者交歓の集いの開催

編集後記 P8



スマートフォン用アプリ「Uni-Voice」
または「Uni-Voice Blind」を使えば
情報を音声で読み上げると同時に、テキストで表示されます。



この広報誌は共同募金の助成を受けています。

介護現場における介護ロボットや

ICT（情報通信技術）の活用を支援します

～とやま介護テクノロジー普及・推進センターの紹介～

富山県は、介護現場の負担軽減とサービスの質の向上を図るため、これまで福祉用具や介護技術の普及と情報発信を行っていた「富山県介護実習・普及センター」を本年4月に改組し、介護ロボットやICTの活用を支援する拠点として「とやま介護テクノロジー普及・推進センター」を設置しました。（運営は富山県社会福祉協議会（以下、「県社協」））

福祉とやま2022年5月号では、「導入が進む介護ロボット・介護機器」の特集を掲載しましたが、今号では、介護テクノロジーの概要や新設したセンターの役割などを紹介します。

センター改組の経緯

改組前の「富山県介護実習・普及センター」では、平成7年

から、県民の皆様が年齢や障害の有無にかかわらず、自立した生活を安心して送ることができるよう、福祉用具の展示や住宅改修の相談、体験講座や介護職員の資質向上のための研修などを実施してきました。

一方で、少子高齢化の急激な進行により、県内では県民の3人に1人が65歳以上の高齢者であり、介護サービスの需要

増に伴う介護職員の確保は喫緊の課題となっています。

令和3年7月に国から公表された「第8期介護保険事業計画」に基づく介護職員の必要数によると、富山県は令和7年度の必要数21,060人に対して、令和元年度の職員数は19,060人であり、今後2,000人の増加が必要状況と推計されています。

こうしたなか、富山県は、(1)介護ロボットやICTの導入による利用者の自立支援とケアの質の向上、(2)職場環境

改善による介護職員の離職防止、(3)若年層を対象とした体験の場の提供、(4)開発企業と事業所とのマッチングや情報発信の支援を図ることを目的に、センターの機能を強化し、新センターを設置しました。

運営は、富山県から委託を受けた県社協が行います。場所は、県総合福祉会館（サンシップとやま）2階で、介護ロボットなどの相談・展示コーナーのほか、体験講座や研修を行うための研修室を備えています。



4/18新センター開所式の様子

介護テクノロジーとは

介護テクノロジーとは、高齢者等の自立支援と介護を行う人・受ける人双方の負担を軽減する「介護ロボット」「ICT」「福祉用具」などのことを言います。

介護テクノロジーとは

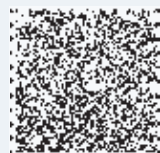
高齢者等の自立支援と介護者・被介護者双方の負担を軽減する「介護ロボット」「ICT」「福祉用具」等のことを言います。

介護や介助が必要な方の日常生活やリハビリ・機能訓練をサポートするための用具や機器。



ロボット技術（情報を感知・判断し・動作する）が応用され、利用者の自立支援や介護者の負担の軽減に役立つ介護機器。

ネットワークを活用した情報通信技術のこと。介護現場では、タブレットやインカム等の活用による情報共有の効率化、データの分析による質の高い介護サービスの提供などが期待されます。



センターの役割

(1)相談窓口

県民の皆様や介護事業所からの介護テクノロジーの導入・活用に関する相談、開発企業からの相談に対応いたします。

(2)展示・体験&貸出

展示コーナーでは、ベッドから車いす、車いすから便座や浴槽などへの移乗支援、排泄支援、入浴支援、見守りやコミュニケーション支援などにかかる介護ロボット22機種を常設展示しています。また、期間展示のロボットや日常的に使用する福祉用具・介護用品もありますので、ぜひお気軽にセンターにお越しください。また、介護施設を対象にした介護テクノロジーの試用貸出



介護テクノロジー展示コーナーの様子

(無料)も行っていますので、利用を希望される施設はお気軽にセンターにお問い合わせください。

(3)イベントの開催

県民の皆様最新の介護テクノロジーを見て、触って、介護について考えていただくための「介護ロボット・福祉用具展示会」などを開催します。

(4)介護テクノロジーを活用した体験講座や研修の開催、モデル施設への伴走支援

①体験講座
県民の皆様や小中高生、介護福祉士養成校生や福祉施設職員を対象に、介護現場で実際に使用する介護ロボットなどを体験し、理解と関心を深めていただくための講座を開講します。

②介護ロボット等導入・活用シリーズ研修
介護職員や福祉施設経営者の方々を対象に、介護ロボット等の基礎知識の習得や導入までの流れ、選定や課題の洗い出しなどを行う「導入シリーズ研修(基礎・導入編、実践マネジメント編)」を開催します。また、介護現場のリーダーを対象に、移乗や排泄、移動、見守り・コミュニケーション支援の各介護ロボットなどの活用方法や効果を習得するための「活用シリーズ研修」も開催します。

③職員の資質向上フオーアップ研修
新任職員を対象に、介護技術実践を支援するための「サポート研修(口腔ケア、食事・

腰痛予防研修の様子

あんなあ
介護ロボットちゃ
知ってるけ?

見えれば憂いなし
将来、介護で困らないために

第1回 介護ロボット・福祉用具展示会

日時 令和4年9月1日(木)、2日(金)
10:00 ~ 15:00

場所 とやま健診プラザ
(鶴山市千代田町2-1 北陽予防医学協会3F)
※駐車場完備:第2・第3駐車場をご利用ください

参加企業・団体(五十音順)
■(株)NTT データ経営研究所 ■(株)ワークス(株) ■コミュニティカフェ カフェゴッゴ ■ケアロボット(株) ■Coffee View さんのくるま
■(株)永田メディカル ■(株)富士山製作所 ■(株)山崎製作所 ■(株)山崎製作所 ■(株)山崎製作所 ■(株)山崎製作所 ■(株)山崎製作所
■(株)山崎製作所 ■(株)山崎製作所 ■(株)山崎製作所 ■(株)山崎製作所 ■(株)山崎製作所 ■(株)山崎製作所

昨年度の介護ロボット・福祉用具展示会のチラシ



腰痛予防研修の様子



介護福祉士養成校生の介護ロボット体験

嚥下、移乗、排泄」を開催します。また、新任職員の指導者を対象にした「技術向上研修(排泄編、排泄技術編)」を開催します。さらに、福祉施設経営

者や管理者等を対象に、介護テクノロジーを活用した負担の少ない介護を学び、腰痛予防の意識の定着や職場環境の改善を図るための「腰痛予防研修」福祉施設職員や福祉用具関連事業者を対象にした「リフトリーダー養成研修」も開催します。

(4)人材育成研修

ケアマネジャーや地域包括支援センター職員、その他相談援助を行う職員などを対象に、「介護テクノロジー相談員養成研修」を開催します。

(5)モデル施設への伴走支援

介護ロボットを導入しようとする介護施設の現場にアドバイザーが出向き、課題の「見える化」や、適切な介護ロボットの選定、介護ロボット導入のための助言などの支援を実施します。

(5)開発企業への支援

企業と介護現場とのマッチングを支援し、介護ロボットの開発を後押しします。また、センターにおける介護ロボットの展示や情報発信、出展可能なイベントの紹介なども行います。



今後の展望について

(1) 介護テクノロジーの導入促進と魅力の発信

介護現場への介護ロボット等の導入は、職員の負担軽減や介護サービスの質の向上のほか、生産性向上(業務改善)で生まれた時間を有効活用して、利用者に向き合う時間を増やすことができることを積極的に発信していきます。また、介護現場の課題を共有し、「ともに課題解決に向けて考えていく伴走支援」に取り組むとともに、先行する介護現場の実践例を共有する成果報告などを通じて横展開を図っていきます。さらには、「介護テクノロジーって何?」「導入するメリットは?」などの不安や疑問を払拭できるよう、介護テクノロジーの魅力発信や介護現場のイメージアップに努めるとともに、気軽に足を運んでいただけるセンター・展示コーナーとなるよう、土・日・祝日も相談員を配置して対応していきます。

(2) 介護テクノロジーを活用できる人材の育成

せっかくの介護テクノロジー

も操作・活用できる人材がいなければ、介護現場への浸透は図られません。新たに整備した研修室を活用し、階層や職種に応じた人材育成研修に取り組みます。

(3) 介護テクノロジーの普及を通じた地域福祉と福祉教育の推進

小中高生やご家族の方々、県民の皆様が介護テクノロジーに触れることで、福祉教育の推進にもつながり、「新しい介護」のあり方を地域で考えるきっかけにもなります。県社協がセンターの運営を担う意義でもあり、体験講座や移動展示などを開催し、地域で介護テクノロジーと出会う機会を増やしていきます。

(4) 多様な機関との連携・協働、ネットワークの構築

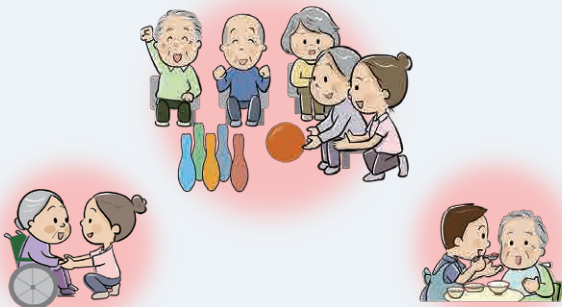
富山県や社会福祉法人、医療機関、大学、職能団体などのネットワーク組織である、「とやま相談窓口サポーター連絡会」にも協力いただきながら、介護テクノロジーの普及を推進していきます。

※お知らせ

令和5年8月26日(土)に、ブランドプラザ(富山市総曲輪)において、今年度第1回目の「介護ロボット・福祉用具展示会」を開催する予定です。介護ロボットの展示やカフェコーナーなどもありますので、お気軽にお越しください。

○問い合わせ先

県社協
とやま介護テクノロジー普及・推進センター
TEL 076-40316840



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
保険金の種類				
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術	入院中の手術	65,000円	
	保険金	外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外 ^(※)		初日から補償
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	550円

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



(SJ22-12223より抜粋して作成)



小学生親子夏休み福祉の仕事バス教室

高齢者施設などで働く職員やその利用者との交流などを通じ、福祉・介護の仕事について、親子で理解を深めていただける体験型の教室です。

- 【県東部】 ●日時 8月2日(水) 10:00～16:00
会場 しらいわ苑(富山市水橋新堀)
●日時 8月7日(月) 10:00～16:00
会場 梨雲苑(富山市吉作)、
ささづ苑かすが(富山市下タ林)
【県西部】 ●日時 8月18日(金) 10:00～16:00
会場 鳳鳴苑(高岡市蔵野町)、だいご苑(高岡市醍醐)
●対象 県内の小学生(5,6年生)とその保護者

はじめての福祉の仕事サロン

福祉の仕事についての基本的な内容や現場の状況などについて、キャリア支援専門員がいてほしいに答えします。

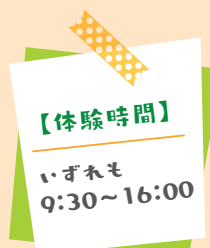
- 対象 福祉・介護分野に興味・関心のある求職者の方
●日時 7月27日(木)・8月24日(木)
いずれも 13:30～16:00
●会場 サンシップとやま
●定員 各月10人(先着順)
※事前に下記までご連絡ください。

高校生等の福祉の魅力体験バス教室

県内の高校生、保護者、教員等に対し、福祉の仕事や福祉職場の魅力を知ってもらい、理解を深めてもらうことで将来の福祉・介護人材の掘り起こしを図ることを目的とした、体験型のバス教室です。

- 【富山会場】 ①7月26日(水)…… 白光苑(富山市山岸)、梨雲苑(富山市吉作)、しらいわ苑(富山市水橋新堀)、あしたねの森(富山市新庄町)
②8月23日(水)…… ソレイユ(富山市下堀)、ささづ苑かすが(富山市下タ林)
【高岡会場】 ①8月1日(火)…… 射水万葉苑(射水市朴木)
②8月4日(金)…… だいご苑(高岡市醍醐)、鳳鳴苑(高岡市蔵野町)、あさひ苑アネックス(高岡市鷺北新)、ふしき苑(高岡市伏木国分)
③8月9日(水)…… 七美ことぶき苑(射水市七美)、藤園苑(高岡市早川)
④8月23日(水)…… 志貴野長生寮(高岡市滝新)

- 対象 (1)県内の高校生、(2)上記の保護者及び進路指導担当教員等



**福祉の職場を目指す
あなたを応援します!**

**参加希望
問い合わせ先**

県社協 県福祉人材センター
県保育士・保育所支援センター
☎076-432-6156

【開所日】月曜日～金曜日
(土・日・祝日および年末年始を除く)
【受付時間】8:30～12:00 / 13:00～17:00

**あかいはね
トピックス**

**赤い羽根共同募金は
インターネットでも
可能**

昨今、インターネットを通じた募金方法が注目されています。今回は、当該募金方法の種類についてご紹介いたします。インターネット寄付システムについて

●クレジットカード決済

●コンビニ支払い

●ペイジー(インターネットバンキング)

●ペイジー(ATM)

●auかんたん決済

●ソフトバンクまとめて支払いから、募金をいただくことができます。

【寄付の手順】

① 本会HPの「インターネットで募金ができます」の部分をクリックします。

② はねっとHPが開き、「この町に寄付する」をクリックすると、県全域への寄付ができます。

その前に、「さらに地域を絞り込む」をクリックすると、



大きくすることが可能となります。

③ 赤い羽根共同募金HP(寄付金ネット決済システム)から、ご寄付金額欄で「今回のみ」を選択していただくご利用いただけます。

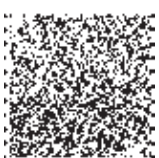
もし、今後定期的に寄付をされることを希望される場合は、「毎月」を選択していただくと、毎月一日に自動に決済が行われます。

詳細につきましては、お支払方法欄の「ご利用ガイド」からご確認ください。

ご利用は、個人としても、法人・団体としても可能ですので、非接触型の募金方法として広くご利用いただければ幸いです。

○問い合わせ先
県共同募金会
☎076-431-9800

こちらから、②の「はねっとHP」に直接アクセスできます。



社会福祉施設経営相談室から

国庫補助金等特別積立金の会計上の取扱い

専門経営相談員 中村 厚（公認会計士・税理士）

① 概念

国庫補助金等特別積立金には、施設及び設備の整備のために国又は地方公共団体等から受領した補助金、助成金及び交付金等（以下「国庫補助金等」）の額を計上します。

② 国庫補助金等特別積立金の積立て

① 積立対象

国庫補助金等特別積立金には、次の金額を積み立てることとされています。

- （イ）施設、設備整備のために受領した国庫補助金等
- （ロ）設備資金借入金元金の返済時期に合わせて執行される補助金等

実際に償還補助があったときに当該金額を国庫補助金等特別積立金に積み立てるものとされています。

② 積立ての計算書類上の表示

国庫補助金等の収益額を事業活動計算書の特別収益に計上した後、その収益に相当する額を国庫補助金等特別積立金積立額として特別費用に計上します。

③ 国庫補助金等特別積立金の取崩し（計算書類上の表示）

① 事業活動計算書の「サービス活動費用の控除項目」として計上される場合

（イ）国庫補助金等特別積立金の積立対象となった資産の減価償却費計上に対応する取崩し

（ロ）国庫補助金等特別積立金の積立対象となった物品が、

10万円未満の初期調度物品

等であるなど、資産に計上されず、即時に費用処理されることに対応する取崩し（修繕費に計上する場合等も同様）

国庫補助金等は、その効果を発現する期間にわたって、支出対象経費（主として減価償却費をいう）の期間費用計上に対応して国庫補助金等特別積立金取崩額をサービス活動費用の控除項目として計上します。

② 事業活動計算書の「特別費用の控除項目」として計上される場合

国庫補助金等特別積立金の積立対象となった資産が廃棄又は売却されたことに対応する取崩しが該当します。

④ 借入金元金償還補助金に関する国庫補助金等特別積立金の取崩し計算

設備資金借入金元金の返済時期に合わせて執行される補助金についての国庫補助金等特別積立金の取崩額の計算は、償還補助総額を基礎として支出対象経費（主として減価償却費をいう）の期間費用計上に対応して国庫補助金等特別積立金取崩額をサービス活動費用の控除項目として計上します。

その時点における償却補助金に関する国庫補助金等特別積立金積立額を基礎にするのではなく、償還補助総額を基礎として取崩計算が行われることには特に留意を要します。

ボランティアグループ紹介

楽しみながら伝えつつける バルーンアートの魅力

バルーンアートボランティアゆめふうせん（砺波市）

砺波市のボランティアグループ「ゆめふうせん」が発足したのは2014年9月。グループ長を務める藤井恵子さんが、砺波市社会福祉協議会が主催する「バルーンアートでボランティア講座」の講師を担当し、講座終了後に活動継続の希望者を募ったところ、有志が集まり発足に至りました。



代表 藤井恵子さん

おもな活動は、小学生の放課後児童クラブ、お年寄りのふれあい・いきいきサロン、砺波市内外のイベントなど、さまざまな場所に出向いてバルーンアートの魅力を伝えること。具体的には、ふくらませ方とひねり方というバルーンアートの基本テクニックのレクチャー、簡単なもの・複雑なもの、好きなものと、段階を踏んだ

バルーンアート作品の制作のサポートをおこなっています。

雰囲気は参加者とメンバーの垣根がなく和気藹々としていて、桃の節句のお雛様などかわいらしいバルーンアートが登場するとひととき盛り上がるのだとか。ほかには、メンバー同士での定例会もおこなっており、バルーンアートに関する情報を交換したり、プロの制作動画を視聴したりして、テクニックの向上やレパートリーの充実をはかっています。



作品の一例

来秋、10周年を迎える同グループ。藤井さんと発足メンバーは「参加者にも自分で作れた！という喜びを感じてもらいたい」「長く続けてこれたのは自分たちも楽しむことを大切にできたから」と

語ります。依頼先との縁をつなぎつづけ、さまざまな年代の方にバルーンアートの魅力を伝えつつける。そして、そのなかから、バルーンアートをもちっと好きになる人や、メンバーとして活躍する人が増えてくれば、という夢もふくらんでいきます。



活動の様子

○ 問い合わせ先

砺波市社会福祉協議会
0763-3210294



令和5年度 会員交流事業企画一覧



ソウエルクラブのご案内

福利厚生センターからのお知らせ

ソウエルクラブ富山県事務局では、会員同士や家族間のふれあいの促進、心身のリフレッシュなどを目的に、会員交流事業として、さまざまな旅行やイベント企画を実施しています。昨年度の参加者からは、「家

族と久しぶりに旅行ができ、楽しい思い出となった」「個人旅行ではなかなか行けないところへ行けた」などの感想をいただいています。今年度も、県内外への旅行やグルメ企画を予定しています

ので、ぜひ、ご家族や職場の仲間と奮ってご参加ください。また、映画観賞券やスキーリフト券への助成など、会員の皆様に喜んでいただけるような企画の充実に努めていきますので、ぜひご利用ください。

〇問い合わせ先
県社協 総務企画課
TEL 076-1432-2958

① 会員交流事業

単位:円

No	内 容	通常料金	参加費	予定人数	実施予定日	日程
1	ご朱印企画第3弾! 信濃國、戸隠五社と諏訪大社四社参り さくらんぼ狩りの旅	42,800	22,800	40	6月24日(土)	1泊
2	ブルーベリー狩りと初夏のひんやり体験 志賀・竜王ロープウェイと絶景ソラテラス	15,980	5,980	40	7月8日(土)	日帰り
3	祝☆世界遺産厳島神社 【令和の大鳥居】完成! 神宿る島宮島2日間	63,000	43,000	40	9月30日(土) ～10月1日(日)	1泊
4	東京ディズニーセレブレーションホテル宿泊 ディズニー・ハロウィーンを楽しむ東京1泊2日の旅	54,000	34,000	40	9月下旬～10月の 土または日	1泊
5	びわ湖をぐるっとひとめぐり	57,000	37,000	40	11月11日(土) ～12日(日)	1泊
6	テレビでお馴染み 大人気ウインターイルミネーション鑑賞 ナガシマリゾート満喫の旅	45,000	25,000	40	11月中旬～3月下旬の 土または日	1泊
7	今年こそ♪沖縄で過ごす☆ホットな3日間	92,500	62,500	40	12月15日(金) ～17日(日)	2泊
8	一年間の頑張りにご褒美を☆ クリスマスディナー会	15,000	5,000	40	12月	日帰り
9	朝乃山応援企画、北陸新幹線で行く、 太相撲/初場所観戦ツアー	59,800	39,800	20	1月の 金曜日	1泊
10	事業所対抗ボウリング大会	8,000	2,000	200	2月18日(日)	日帰り
11	期間限定! 穴水駅舎あつあつ亭にて頂く 旬の能登牡蠣の昼食と能登鉄道里山里海スイーツ列車 和倉温泉スイーツめぐり	13,980	3,980	35	2月の 土または日	日帰り
12	大人気グルメ企画! 「ステーキハウス六角堂」で 豪華特選和牛を食す金沢日帰り旅行	18,000	8,000	40	未定	日帰り

※実施日程や内容・参加費などは変更となる場合があります。

② 施設利用事業

No	内 容	通常料金	参加費	予定人数	実施予定日
1	映画入場券補助	1,400	1,000	3,300	有効期間6ヶ月
2	スキーリフト利用補助券			300	冬季

事業報告

運営適正化委員会事業報告

令和4年度に福祉サービス運営適正化委員会へ寄せられた苦情は16件、苦情までに至らない相談は33件、合わせて49件でした。苦情件数、相談件数ともに前年度より1件増加しました。

対象者区分では、高齢者の苦情・相談が21件、次いで障害者が20件、児童6件、その他2件の順になっています。

苦情・相談内容は「職員の接遇」が25件で最も多く、次いで「その他」が8件、「説明・情報提供」が7件、「利用料」と「被害・損害」が各3件、「権利侵害」が2件となっています。

苦情・相談の申出人は、「家族」が26件と最も多く、「利用者本人」からの苦情・相談は20件となっています。

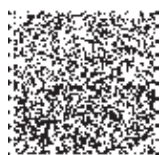
利用者・家族等の要望や意見は、福祉サービス事業者にとって、改善や見直しのヒントになるものであり、「苦情は宝」「選ばれる福祉サービスへの道」でもあります。寄せられた

苦情を確実に解決するとともに、新たな苦情の発生防止、福祉サービスの改善と質の向上につなげていくことが求められます。

区 分	職員の接遇		サービスの質や量		説明・情報提供		利用料		被害・損害		権利侵害		その他		合 計		
	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	
高齢者	0	8			1	4		2	1	2			1	2	3	18	21
障害者	5	8			1	1					1		1	3	8	12	20
児 童	2	1					1				1			1	4	2	6
その他		1	1												1	1	2
合 計	7	18	1		2	5	1	2	1	2	2		2	6	16	33	49

〇問い合わせ先

県社協 県福祉サービス運営適正化委員会
TEL 076-1432-13280



Free Talk フリートーク

地域の資源を活かし、
地域の居場所づくりへ



めひの自閉症地域生活支援センター
相談支援専門員
富山市教育委員会
スクールソーシャルワーカー
宮舟 貴子さん

呉羽地域を拠点に現在のふたつの仕事に携わっているようになって6年目に入ります。障害児者福祉の相談支援専門員として、また地域の小中学校でスクールソーシャルワーカーの仕事にも携わらせて頂いています。ここ呉羽は桜が咲き終わると丘陵地に梨の白い花の絨毯が辺り一面に広がり、お盆を過ぎると幸水などの呉羽梨が盛んに売り出されます。そのような地域の豊かさを横目に奔走する日々を送っています。

大切にしていくのは、どちらの分野においてもご本人を主体に安心できる暮らしやその人なりの豊かな人生を描けるよう、ご本人、家族、学校や事業所、様々な支援機関などの人たちと何でも話し合える良好な関係とそれらを繋げながら、一歩ずつ前へ進むことです。

そして、様々な課題に向き合う中で感じているのが制度の間にある孤立した人たちの居場所が地域ごとに必要だと言うことです。県内には居場所と言われるのが徐々に出来てきているが

ここ呉羽にはないことに気付く、何かしなければと考えるが、折、昨年、県福祉力レτζジの地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク研修へ参加しました。仲間と共に地域の居場所づくりについて議論しあいました。また、今年に入りちよつとしたきつかけから自身が所属する(福)めひの野園の就労継続B型事業所「やねのうえのガチョウ」(パン屋)の2階にて「いまここカフェ」と言う名前で開催所カフエを4月から月1回開くことになりました。

出来ることの第一歩として地域の資源を活用し、地域に暮らす不登校など生きにくさを抱える子ども達やその親御さん達が気軽に立ち寄り、お話ししたり、好きなことをしたりなど、心を和らげる場を作っていきます。

「いまここカフェ」
呉羽・清水町開催
〇問い合わせ先
NPO法人ありみね
TEL 070-150600-7373

令和5年度富山県社会福祉推進関係者交歓の集い開催

県社会福祉協議会は、4月27日に県民会館において、県内の行政・福祉・医療・保健・職能団体等約80名が一堂に会する交歓の集いを開催しました。

今回は4年ぶりの開催であり、今後の円滑な連携と事業推進のために、事業種別や職種を超え、学びあい、交流を図ることを目的としています。



大橋学長による講演

第1部では、県福祉力レτζジ大橋謙策学長より、「地域共生社会員現化を目指す第3次富山県民福祉基本計画と重層的支援体制整備事業」と題し講演が行われました。

第3次富山県民福祉基本計画策定にあたり、現状の地域生活課題の整理から、計画に



第2部参加者による交流会

盛り込まれた重点事項や施策を踏まえ、人や地域の絆をつくり、とやま型地域共生社会を実現するために関係者が意識すべき視点等について幅広く講義をされ、参加者は熱心に聞き入っていました。

第2部では、県社協新田八朗会長の挨拶で、とやま型地域共生社会の実現のため、関係機関が密に連携する事の重要性を改めて話され、今後の県内の社会福祉関係者の円滑な連携による、効果的な事業推進に向け、情報交換と親睦が図られました。

編・集・後・記

少子高齢化の進行は、今後の人生への不安にもつながりかねません。「とやま介護テクノロジー普及・推進センター」の設置によって、福祉に関するさまざまなテクノロジーが多くの人に認知され、一人ひとりが自立した生活を送るためにテクノロジーの力を借りる。そんな前向きな活用ができるように、センターの取り組みに期待したいです。

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会

は 住民主体の地域福祉の理念に基づき、だれもが安心して暮らすことができる福祉社会の実現をめざし、県内の民生委員・児童委員、福祉施設、福祉従事者、ボランティア等で構成する、公共性と自主性をもつ民間社会福祉組織です。

本誌に関するご意見・ご感想をお聞かせください。
 ●ウェブサイト <https://www.toyama-shakyo.or.jp/>
 ●メール info@toyama-shakyo.or.jp アクセシブルに！
 ハーティは富山県のボランティア活動のマスコットマークです。

